

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和3年9月6日

施設名	青少年体育館	所管課	教育委員会生涯学習課
-----	--------	-----	------------

1 施設の概要

指定管理者名	(特非)高知県青年会館	指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
施設所在地	吾川郡いの町八田1767		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用の許可に関する事 ・施設及び設備の維持管理に関する事 ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関する事 ・主催事業を計画し、実施すること <p><令和2年度主催事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生スポーツ教室 ・体かづくり教室 ・小学生バドミントン教室 ・第23回小学生ドッジボール大会 ・レディーストレーニング講習会 ・青少年体育館スポーツ交流会 ・スポーツ鬼ごっこ教室 ・フライングディスク教室 ・青年団連携事業 ・一般社会人対象スポーツ教室 		
施設内容	<p>青少年の健全育成及び県民の健康増進並びに体育の振興を図り、併せて社会教育活動の用に供することを目的としている。</p> <p>利用開始日：平成3年12月1日 建築物：鉄筋コンクリート一部2階</p> <p>施設概要：</p> <p>1階アリーナ 1,728㎡ バスケットボール2面 バレーボール3面 バドミントン10面 卓球15台 ハンドボール1面 テニス3面</p> <p>トレーニング室 144㎡ 会議室72㎡×2室 更衣室・シャワー室 2階観覧席 1,500席</p>		
職員体制	職員：館長1名 館長補佐1名 副館長1名 指導員4名 合計：7名 ※館長・館長補佐は高知青少年の家と兼務		

2 収支の状況

(単位：円)

		R01年度(決算)	R02年度(決算)	R03年度(予算)
収入	県支出金	38,188,000	37,591,000	37,281,000
	事業費収入	530,333	225,510	600,000
	収入計	38,718,333	37,816,510	37,881,000
支出	事業費	484,392	342,323	680,000
	管理運営費	16,124,203	14,768,251	13,950,000
	人件費	18,552,599	19,019,306	19,808,000
	消費税	3,557,139	3,686,630	3,443,000
	支出計	38,718,333	37,816,510	37,881,000
使用料収入		4,407,270	3,691,770	4,147,000

3 利用実績

(1)利用団体数

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平均
利用者数	65,449	70,484	58,630	60,991	39,169	58,945
利用団体数	1,553	1,830	1,482	1,640	1,595	1,620

4 業務の評価

項目	施設からの状況説明に対する評価・意見
①利用拡大のための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・パラスポーツなどの種目を事業に入れ込むことでさらなる可能性があると考えられる。 ・感染症対策下では、人の受け入れに苦慮していることと思われる。 ・予約状況や混雑状況をホームページでお知らせできるようにすれば、混雑緩和と感染症対策にもつなげることができる。体育館のホームページ運営が課題である。 ・コロナ禍において、主催事業の回数・定員を縮小し、検温・手指の消毒・マスク着用・3回避などの対策を講じて9事業を行っている。 ・小学生スポーツ教室として、5種目の競技を行いスポーツに親しむ児童の育成に努めている。また、スポーツに親しむだけでなく、新体操では発表会を行うことで児童の競技への達成感も図ろうとしている。 ・いの町と連携して各種スポーツ大会を共催し、地域型総合スポーツクラブの普及の一助を担っている。 ・少ない職員数であるにもかかわらず、年間を通して開館しており、日頃の努力を評価する。
②利用者へのサービス向上のための改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページでの情報発信を随時行えるように体制を変えることはできないか。 ・利用者アンケートや事務所前の意見箱から年間を通じてニーズ等を把握している。 ・体育館内外の清掃や器具庫の整理整頓を心がけ、清潔な施設づくりをめざしている。 ・職員の資質・指導力の向上を図るため、社会教育施設連絡協議会指導者講習会へ参加している。 ・高齢者の主催事業を開催している。 ・障害者にも毎週定期的に利用されている。
③施設の運営について	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSを効果的に使用しながらさらなる情報発信によって、さらに県民に当該施設の内容が周知されることが考えられる。 ・体を動かすスポーツを行う場所、ということで怪我や命に関わる事故を防ぐ安全管理には十分気をつけてほしい。施設の不備の改修はもちろん、救命救急の手順を定期的に確認したり、職員同士でAEDの操作方法を確認することも必要である。 ・利用団体の方にも利用時に救命救急手順を確認したり、協力を求める態勢をとることも重要である。 ・トレーニング機器の老朽化が進む中、事故がゼロというのは素晴らしいことである。日頃からの職員の安全点検が行き届いている結果である。 ・職員による巡回、目視による床面のささくれやトレーニング器具の安全点検などに常に気を配り、業務の合間に玄関掃除や草刈りを行い、絶えず利用者が気持ちよく安全に利用できるよう努力できている。

④利用実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ毎日、施設利用が埋まっている状況である。 ・厳しい条件の中で利用者が減少することは仕方がないが、利用できる社会状況の時に、使いやすい施設であり続けることがとても大切である。 ・コロナ禍ではあるが、対策を講じて計画した10事業のうち9事業を実施できている。
⑤収支の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・人件費が予算をオーバーしているため、安全かつ安定的に運営するために必要な人数が揃っているのか、点検と改善を求める。 ・報告書(消費税)の科目の表記について変更する必要がある。
総合評価	<p style="text-align: center;">A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トレーニング室の利用者が増加しているが、一方でトレーニング機器は老朽化しており、安全確保のためにそのリニューアル予算を別予算で検討してほしい旨、本委員会からも県に要望したい。 ・高知県の健康パスポートと連動した取組を検討してほしい。また県内で行われるスポーツイベントの情報発信もサポートできれば、体育館の注目度がさらに高まると思われる。施設の中で起きていることだけで判断するのではなく、広く社会に目を向けて取り入れられるものがあれば運営に反映する、というフットワークの軽さと実践力を期待する。 ・少ない職員数で年間358日開館して、利用者のニーズに応えている。 ・青少年施設として仕様書に定める内容や目標を十分に達成している。 ・パラリンピックの放映をとおして、さまざまな競技があることや競技に対する関心が高まってきている。障害者施設と連携して、健常者も一緒に活動できる事業に取り組み、障害者理解への一歩を図ってみてはどうか。 ・施設の老朽化対策については、現場の生の声を大切に、県に対して中長期の対策案を毎年、気長に提示しつづける事が必要である。

- 【評価の目安】
- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 - B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 - C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 - D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

※「施設からの状況説明に対する評価・意見」欄には、各施設の品質向上及び利用者拡大に向けて、①から⑤までの項目に沿って、努力成果が見える点や改善が必要だと感じる点、その他特記事項をご記入ください。

また、他の参考になるような業務改善の取組については、総合評価欄にご記入ください。